

**平成 1 7 年度
試験研究課題評価結果
(事前評価)**

平成 1 7 年 1 2 月

**衛生環境評価専門部会
工業評価専門部会
農業評価専門部会
林業評価専門部会
水産評価専門部会
土木評価専門部会**

目 次

1 . 評価実施	1
(1) 経緯	1
(2) 内部評価	2
(2) 評価専門部会	2
2 . 評価結果及び評価対象外	2
(1) 評価結果	2
(2) B 評価課題の変更点	4
(3) 評価対象外	5
(4) 振興会議への報告	5

1. 評価実施

(1) 経緯

平成17年8月30日(火)に開催した平成17年度第1回愛媛県科学技術振興会議において、平成18年度実施予定の試験研究課題について報告し了承を得た。

【報告課題】

機関名	課題数	課題名
衛生環境研究所衛生部門	0	
衛生環境研究所環境部門	1	・環境大気中アゾール及び降下物成分の動態に関する研究
工業技術センター	4	・難聴児の聴力トレーニング機の開発 ・組込み技術を用いた機器制御システムの研究開発 ・野菜加工品ギャバ富化技術開発研究 ・ミリ波帯域電波吸収材の性能安定化に関する研究
繊維産業試験場	3	・特殊綿糸を用いた高品質タオル織物の開発研究 ・タオル製品織物企画に関する調査研究 ・新商品開発のための機能性評価支援事業
紙産業研究センター	2	・工場内における無線センシングシステム開発研究 ・柑橘抽出物を利用した衣料用防虫シートの開発
窯業試験場	1	・産地イメージを活かした窯業製品開発研究
農業試験場	3	・家畜糞堆肥利用促進技術開発試験 ・トマト黄化葉巻病の被害拡大防止緊急対策試験 ・中山間地域における夏秋刈刈を基幹とした高収益栽培技術体系の確立
果樹試験場	1	・露地栽培せとかの越冬完熟栽培技術の開発
花き総合指導センター	0	
畜産試験場	3	・牛の効率的優良体外受精卵作出技術開発試験 ・粗飼料多給型による黒毛和種の短期間肥育技術確立試験 ・未利用資源を活用した家畜尿処理技術の確立
養鶏試験場	2	・産卵時間コントロールによる省力管理技術開発試験 ・肉用鶏の付加価値向上試験
林業技術センター	5	・人工林の「強度な間伐」の有利性と森林の機能に与える影響 ・原木乾しいたけ生産工程省力化に関する研究 ・竹材の多面的利用研究 ・予備乾燥による乾燥の効率化 ・耐久性・強度評価を考慮したヒノキ高温乾燥技術の開発
水産試験場	1	・宇和海における藻場の回復手法・藻類養殖技術の開発
中予水産試験場	2	・アマモ場再生実証試験 ・アサリ資源回復実証試験
魚病指導センター	0	
建設研究所	3	・土壌安定処理剤を使った軟弱地盤対策工法の研究 ・植樹帯の防草工法の比較検討 ・地盤情報データ管理の基礎研究
合計	31	

上記の課題報告を実施した後に、評価対象に追加となった試験研究課題は次のとおり。

機関名	課題名
衛生環境研究所 (環境部門)	硝酸性窒素による地下水汚染防止技術開発研究 バイオマス利活用推進事業 愛媛県における生物多様性の保全研究

(2) 内部評価

外部評価を実施する前に内部評価を実施し、その結果、他の試験研究課題と統合、または取下げとなった試験研究課題は次のとおり。

機関名	課題名
畜産試験場	未利用資源を活用した家畜尿処理技術の確立
養鶏試験場	産卵時間コントロールによる省力管理技術開発試験

(3) 評価専門部会

愛媛県科学技術振興会議委員長からの下命により、各評価専門部会において、次の視点から試験研究課題評価(事前評価)を実施した。

【事前評価】

翌年度の県予算作成時までに、次に掲げる項目について評価する。

- ア 必要性
- イ 新規性・独創性
- ウ 目標設定の妥当性・達成の可能性
- エ 試験研究計画の妥当性
- オ 試験研究成果の波及効果
- カ 実施体制の妥当性・効率性

2. 評価結果及び評価対象外

(1) 評価結果

各評価専門部会における評価結果は次のとおり。

各委員が評価項目(6項目)ごとの評価を行ったうえで、下記のとおり総合評価を行う。

【総合評価】

- A : 試験研究課題を採択
- B : 試験研究課題を一部変更して採択
- C : 試験研究課題を不採択

ア．衛生環境評価専門部会（４課題、平成 17 年 10 月 31 日（月））

機関名	課題名	総合評価
衛生環境研究所 （環境部門）	環境大気中エアロゾル及び降下物成分の動態に関する研究	A
	硝酸性窒素による地下水汚染防止技術開発研究	A
	バイオマス利活用推進事業	A
	愛媛県における生物多様性の保全研究	A
合計	A : 4 B : 0 C : 0	

イ．工業評価専門部会（９課題、平成 17 年 10 月 6 日（木））

機関名	課題名	総合評価
工業技術センター	難聴児の聴力トレーニング機の開発	A
	組込み技術を用いた機器制御システムの研究開発	A
	野菜加工品キヤハ富化技術開発研究	B
	ミリ波帯域電波吸収材の性能安定化に関する研究	A
繊維産業試験場	特殊綿糸を用いた高品質タリ織物の開発研究	A
	タオル製品織物企画に関する調査研究	A
紙産業研究センター	工場内における無線センシングシステム開発研究	A
	柑橘抽出物を利用した衣料用防虫シートの開発	A
窯業試験場	産地イーツを活かした窯業製品開発研究	A
合計	A : 8 B : 1 C : 0	

ウ．農業評価専門部会（７課題、平成 17 年 9 月 12 日（月））

機関名	課題名	総合評価
農業試験場	家畜糞尿処理・利用促進技術開発試験	A
	トマト黄化葉巻病の被害拡大防止緊急対策試験	A
	中山間地域における高収益栽培技術体系の確立	A
果樹試験場	せとかの越冬完熟露地栽培技術の開発	A
花き総合指導センター		
畜産試験場	牛の効率的優良体外受精卵作出技術開発試験	A
	粗飼料給型における黒毛和種の短期間肥育技術確立試験	A
養鶏試験場	肉用鶏の付加価値向上試験	B
合計	A : 6 B : 1 C : 0	

エ．林業評価専門部会（５課題、平成 17 年 9 月 21 日（水））

機関名	課題名	総合評価
林業技術センター	人工林の「強度な間伐」の有利性と森林の機能に与える影響	A
	原木乾しいたけ生産工程省力化に関する研究	A
	竹材の多面的利用研究	A
	予備乾燥による乾燥の効率化	A
	耐久性・強度評価を考慮したヒノキ高温乾燥技術の開発	A
合計	A : 5 B : 0 C : 0	

オ．水産評価専門部会（3課題、平成17年9月26日（月））

機関名	課題名	総合評価
水産試験場	有用藻類の多目的利用に関する研究	A
中予水産試験場	アマモ場の保全・再生技術開発試験	A
	アサリ資源回復実証試験	A
魚病指導センター		
合計	A : 3 B : 0 C : 0	

カ．土木評価専門部会（3課題、平成17年9月20日（火）10月13日（木））

機関名	課題名	総合評価
建設研究所	土壌安定処理剤を使った汚泥処理対策工法の研究	A
	植樹帯の防草工法の実証研究	A
	地盤情報データ管理の基礎研究	A
合計	A : 3 B : 0 C : 0	

(2) B評価課題の変更点

B評価（一部変更して採択）となった試験研究課題の変更点は次のとおり。

機関名	課題名
	指摘事項・変更内容
工業技術センター	野菜加工品ギャバ富化技術開発研究
	<p>【指摘事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象物(漬物・惣菜)の妥当性やギャバ(- アミノ酪酸)生成法について再検討が必要である。 <p>【変更内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ギャバの付与方法を一部見直し。 対象物の妥当性については、別途理由を説明し了承。

機関名	課題名
	指摘事項・変更内容
養鶏試験場	肉用鶏の付加価値向上試験
	<p>【指摘事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 肉色改善効果をもたらす資材選定については、鶏肉の安全性への配慮を基本として行う必要がある。 本技術によりもたらす効果がどの位期待できるのか再検討が必要である。 <p>【変更内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全性の確認できている天然素材やアミノ酸類を活用して、肉色を改善する技術を開発する。 本技術の開発による経済性の検討を行う。

(3) 評価対象外

評価対象外となった試験研究課題は次のとおり。

機関名	課題名 理由
繊維産業試験場	新商品開発のための機能性評価支援事業 業界に対する支援事業の一環として、年度ごとに業界が設定・推進する製品開発テーマに沿って実施される試験研究課題であり、また、内容的にも機能性評価など定型的かつ継続的テーマであることから、工業評価専門部会において評価対象外の上承を得た。

【評価対象外規程：評価指針抜粋】

第4 課題評価の対象

課題評価の対象は、原則として試験研究機関が実施するすべての試験研究課題とする。ただし、次のいずれかに該当する試験研究課題については、対象外とする。

- (1) 国、企業等から委託を受けて行う試験研究（委託元が全額負担するものに限る。）
- (2) 秘密保持義務契約（秘密保持義務を定めた協定等を含む。）が締結され、又は締結されることが予定されている共同研究
- (3) 定型的かつ継続的な試験研究であって、第5の2の評価専門部会において評価になじまないと認められたもの
- (4) 国その他の公的機関において評価が実施される試験研究

(4) 振興会議への報告

平成17年12月2日（金）に開催した平成17年度第2回愛媛県科学技術振興会議において、上記のとおり評価結果について報告し上承を得た。